

安全データシート

改訂日：2022年3月

1. 製品及び会社情報

製品名：総ヘモグロビン常用参照標準物質
SDSNo.：SDS023(R2)
法人名：一般社団法人 検査医学標準物質機構
住所：神奈川県横浜市青葉区市ケ尾町 1050-35
電話番号：(045)530-9107
FAX：(045)530-9036

2. 危険有害性の要約

本標準物質はヒト全血から得られたヘモグロビンより製品にしたものであり、毒物及び劇物取締法（毒劇法）、化学物質排出把握管理促進法（化管法）及び労働安全衛生法（安衛法）で規制対象とされている化学物質を含有する製品に該当しない。
また、HBs 抗原、HCV 抗体及び HIV 抗原・抗体については検出されていないが、患者検体と同様に十分注意を払って取扱う必要がある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物
成分名：ヒトヘモグロビン
添加物として重炭酸塩を含有

4. 応急措置

目に入った場合：直ちに水道水で十分洗眼し、異常があれば医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合：付着部又は接触部を多量の水道水又は石鹼水でよく洗浄する。
外観に変化が見られたり痛みが続く場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合：水道水でよく口の中を繰り返し十分に洗浄する。

5. 火災時の措置

消火方法：本標準物質は不燃性のため、一般火災に準ずる。
消火剤：本標準物質は不燃性のため、一般火災に準ずる。

6. 漏出時の措置

少量の場合は水拭きする。また、多量漏出の場合には水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱：点眼・服用・注射は絶対に行わない。取扱説明書をよく参照し、使用に際しては手袋を着用するなど患者検体と同様に、感染性に十分な注意を払って使用する。
保管：到着後、直ちに本標準物質が入ったケースを取り出し、 -70°C 以下のディープフリーザーに移して、温度変動の少ない奥又は底部で保管する。詳細については、取扱説明書を参照する。

8. ばく露防止措置及び保護具

保護眼鏡：要
保護手袋：要
保護衣：要

-
9. 物理的及び化学的性質
外観等：暗赤色の液状凍結品
-
10. 安定性及び反応性
常温、常圧では引火性、発火性、可燃性、爆発性など無い。
-
11. 有害性情報
有害成分は特に含まれていないが安全を確保するために、口に入ったり皮膚に付着したりしないように取扱いには十分注意する。
-
12. 環境影響情報
環境への影響を考慮し廃棄には十分注意する。
-
13. 廃棄上の注意
廃棄物に関する規定に従って医療廃棄物又は産業廃棄物の区別をして廃棄する。
-
14. 輸送上の注意
転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行い、粗暴な取扱いをしない。
-
15. 適用法令
毒劇法：非該当
化管法：非該当
安衛法：非該当
消防法：非該当
-
16. その他の情報
この安全データシートは調査して記しましたが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。
-